

# コンパクトサイズの仏壇専用火災センサー

アンテック

従来品を小型化に成功

仏壇販売店などで販売



と制御装置を一体化したほか、小型化にも成功し、大きさは縦5・7 cm、横9・5 cm、厚さ1・7 cmと半分以下の大きさ

陶芸機器製造販売の(株)アンテック(瀬戸内市邑久町豆田116-3、末石建二社長、電0869・22・2155、<http://www.antecc-japan.net/>)は仏壇専用火災センサーをコンパクトに改良した製品を開発、販売を開始した。写真。

仏壇専用火災検出センサーは同社の紫外線に感知する主力の「火災センサー」をロウソクの炎に反応しないよう、特殊フィルタを施した。従来品は縦12 cm、横6・8 cm、厚さ4 cmと大型で、センサー(直径6・8 cm)と制御装置が別になっていたが、新型の仏壇用火災センサーはセンサー

になる。色は黒で仏壇に取り付けても目立たないようにした。

この仏壇専用火災検出センサーは炎が出す紫外線は感知するが、特殊フィルタを施すことで、ロウソクの炎は感知せず、引火した炎のみを感知する。業者から簡単に付けたいと要望があり、センサーと制御装置の一体化を提案。10月末から開発に取りかかり、11月中旬に完成した。

販売は仏壇販売店を展開している(株)中原三法堂(倉敷市羽島255)などで行い、初年度3千台の販売を見込んでいる。「少しでも火災を軽減したいとの気持から開発した」と末石社長(45)は話している。

平成18年12月20日 経済レポート